

赤坂御用地および常盤松御用邸の陸産貝類

上島 励¹⁾・山崎一憲¹⁾・齋藤 寛²⁾・長谷川和範³⁾

Rei Ueshima¹⁾, Kazunori Yamazaki¹⁾, Hiroshi Saito²⁾ and Kazunori Hasegawa³⁾:

Land Molluscs of the Akasaka Imperial Gardens and the Tokiwamatsu Imperial Villa, Tokyo

赤坂御用地および常盤松御用邸はそれぞれ東京都港区、渋谷区に位置し、東京の都心部における数少ない緑地である。両地はいずれも皇族の居住地であることから一般人の立ち入りが制限されてきた。皇居の生物相調査に続いて、2004年に赤坂御用地および常陸宮邸での陸産貝類相調査を行ったので、その結果について報告する。

現地での調査は2004年11月18日(赤坂御用地)、同年11月24日(常盤松御用邸)に実施し、見つけ採りによる採集を行った。また一部のサンプルはツルグレン装置による土壌動物のサンプル中(野村周平氏採集)から得られた。採集された標本は国立科学博物館筑波研究資料センターおよび東京大学総合研究博物館に保管されている。今回の調査では以下に示す24種の陸産貝類が得られた(死殻のみ得られた種も含む)。

Family Diplommatinidae ゴマガイ科

1. *Palaina pusilla* (Martens, 1877) ヒダリマキゴマガイ (赤坂)

Family Ellobiidae (Subfamily Carychiinae) オカミミガイ科 (ケンガイ亜科)

2. *Carychium nipponense* Pilsbry & Hirase, 1904 ニホンケンガイ (赤坂)

Family Subulinidae オカクチキレガイ科

3. *Allopeas satsumense* (Pilsbry, 1906) サツマオカチョウジガイ (赤坂, 常盤松邸)
4. *Opeas pyrgula* (Shmacker & Boettger, 1891) ホソオカチョウジガイ (赤坂)

Family Streptaxidae ネジレガイ科

5. *Sinnoenaea iwakawai* (Pilsbry, 1900) タワラガイ (赤坂)

Family Clausiliidae キセルガイ科

6. *Stereophaedusa japonica* (Crosse, 1871) ナミギセル (赤坂, 常盤松邸)
7. *Euphaedusa tau* (Boettger, 1877) ナミコギセル (赤坂, 常盤松邸)

¹⁾ 東京大学大学院理学系研究科 東京都文京区本郷 7-3-1

Department of Biological Sciences, Graduate School of Science, University of Tokyo, 7-3-1 Hongo, Bunkyo, Tokyo, 113-0033 Japan
E-mail: rueshima@biol.s.u-tokyo.ac.jp

²⁾ 国立科学博物館動物研究部

Department of Zoology, National Science Museum, Tokyo

³⁾ 国立科学博物館筑波研究資料センター

Tsukuba Research Center, National Science Museum, Tokyo

Family Punctidae ナタネガイ科

8. *Punctum* sp. ナタネガイ属の一種 (赤坂, 常盤松邸)

皇居および目黒自然教育園から採集された *Punctum* sp. 2 (上島ほか, 2000, 2001) と同種である。在来種と思われるが由来は不明。殻径約 1.5 mm で螺塔は低く、成長脈に沿った殻皮の張り出しは明瞭。ナタネガイ *P. amblygoma* (Reinhardt, 1877) に該当する可能性があるが、日本産ナタネガイ類は分類学的再検討がされていないため、現時点では種名が決定できない。

9. *Punctum atomus* Pilsbry & Hirase, 1904 ミジンナタネ (赤坂)

Family Discidae バツラマイマイ科

10. *Discus pauper* (Gould, 1859) バツラマイマイ (赤坂)

Family Helicodiscidae

11. *Helicodiscus singleyanus* (Pilsbry, 1890) イシノシタ (赤坂)

Family Zonitidae (s. lato) コハクガイ科

12. *Zonitoides arboreus* (Say, 1816) コハクガイ (赤坂)13. *Hawaia minuscula* (Binney, 1840) ヒメコハクガイ (赤坂)

Family Philomycidae ナメクジ科

14. *Meghimatium bilineatum* (Benson, 1842) ナメクジ (常盤松邸)

Family Agriolimacidae コウラナメクジ科

15. *Lehmania* sp. チャコウラナメクジ属の一種 (赤坂)

外見はチャコウラナメクジ *Lehmania valentiana* に酷似するが、陰茎が短く鞭状器様の突起を欠くことで異なり、別種である。赤坂御用地の温室の植木鉢の下から得られたもので、移入種と考えられる。日本に移入された *Lehmania* 属には複数の種が含まれているが、本属は種数が多く、原産地 (ヨーロッパ) での分類が確立していないため、現時点では種名を決定できない。

16. *Deroceras laeve* (Müller, 1774) ノハラナメクジ (赤坂)

Deroceras 属も多数の移入種を含み、外見上の識別は困難であるが、解剖学的な特徴から本種であることを確認した。

Family Helicarionidae (s. lato) ベッコウマイマイ科

17. *Trochochlamys crenulata* (Gude, 1900) カサキビ (赤坂)18. *Parakaliella harimensis* (Pilsbry, 1901) ハリマキビ (赤坂)19. *Gastrodontella stenogyra* (A. Adams, 1868) キビガイ (赤坂, 常盤松邸)20. *Discoconulus sinapidium* (Reinhardt, 1877) ヒメベッコウ (赤坂, 常盤松邸)21. *Urazirochlamys doenitzii* (Reinhardt, 1877) ウラジロベッコウ (赤坂)

Family Bradybaenidae オナジマイマイ科

22. *Trishoplita concospira* (Pfeiffer, 1851) エンスイマイマイ (赤坂)23. *Euhadra peliophala* (Pfeiffer, 1850) ミスジマイマイ (赤坂, 常盤松邸)24. *Euhadra quaesita* (Deshayes, 1850) ヒダリマキマイマイ (赤坂)

上記のように、赤坂御用地からは 23 種、常盤松邸からは 8 種、両地合わせて 24 種の陸貝が採集された。今回の調査では人為的な環境を好むオカチョウジガイ、トクサオカチョウジ、ウスカワマイマイ、オナジマイマイなどが未確認なので、別の時期に調査すれば陸貝の種数はさらに増加する可能性がある。今回採集された陸貝はいずれも関東地方に広く分布し、また人為的な環境でも生息可能な種である。絶滅危惧種や重要な保全対象となるものはない。また陸貝の種数も、皇居で確認された 40 種（上島ほか、2000）、目黒自然教育園の 30 種（上島ほか、2001）と比べて少なく、全体的に貧弱な陸貝相といえる。とくに、常盤松邸の陸貝は種数、個体数ともに圧倒的に少なかった。この原因として、周囲が完全に都市化されていて環境条件が悪いことや、庭園管理のための人手がかなり入っていることが影響していると考えられる。しかしながら、両地は東京都の都心部としては、陸貝相は比較的豊富な方であり（とくに赤坂御用地）、ヒダリマキゴマガイ、タワラガイ、ミジンナタネがこのような都心に生息していることは注目に値する。*Lehmania* sp. は文献上は今回が初記録となるが、国内の他の場所からも採集されている。種名を確定するとともに分布状況を明らかにする必要がある。また、両地のような人為的な環境では新たな移入種が増える可能性は高く、今後も追跡が必要であろう。

謝 辞

今回の現地調査では、宮内庁庭園課の方がたと国立科学博物館の大和田守氏にお世話になった。また、国立科学博物館の野村周平氏には土壌動物サンプル中から得られた陸産貝類標本を提供して頂いた。これらの方がたにお礼申し上げる。

Summary

A faunal survey of land snails in the Akasaka Imperial Gardens and the Tokiwamatsu Imperial Villa, Tokyo was carried out in 2004. A total of 24 species representing 13 families are recognized. There was no endangered species nor rare species. Poorness of the land snail fauna reflects disturbed habitat and destroyed natural environment in Tokyo urban area.

引用文献

- 上島 励・長谷川和範・斉藤 寛, 2000. 皇居の陸産および淡水産貝類. 国立科博専報, (35): 197-210
上島 励・斉藤 寛・長谷川和範, 2001. 自然教育園の陸産, 淡水産貝類. 自然教育園報告, (33): 167-172.